

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦舞
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃぼつくすよろづや			団体ウェブサイトURL
制作団体名	株式会社BOX4628			<a href="http://box4628.jp/">http://box4628.jp/</a>
代表者職・氏名	代表取締役・滝沢直也			
制作団体所在地	〒	171-0014	最寄り駅(バス停)	東京メトロ 要町
	東京都豊島区池袋3-1-12-702			
電話番号	03-6907-0569			
ふりがな	おきなわでんとうくみおどりしーのかい			団体ウェブサイトURL
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」			<a href="http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/okigeidai-obkai/">http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/okigeidai-obkai/</a>
代表者職・氏名	会長・仲嶺良盛			
公演団体所在地	〒	902-0072	最寄り駅(バス停)	
	沖縄県那覇市真地345ティダコートB-102			
制作団体 設立年月	2015年 4月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問・相談役:織田紘二		役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し琉球芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名		榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名		税理士 大塚康正

<p>制作団体沿革</p>	<p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く  2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628  2015年 日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める  2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2019年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2020年「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2021年「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体)  沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所  2022年「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」</p>	
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校  2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校「落語教室」10校  2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校「落語教室」10校  2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校  2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校  2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校  2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校  2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p>	
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>第1部 <a href="https://youtu.be/4sLeRvE8kVk">https://youtu.be/4sLeRvE8kVk</a>  第2部 <a href="https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY">https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY</a></p>
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:  PW:</p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	りゅうきゅうぶよう くみおどり おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム構成】</p> <p>①琉球舞踊「四つ竹」(踊りこはでさ節) 種類:古典女踊り 振付・監修:志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊立方」(各個認定)人間国宝、琉球舞踊重踊流宗家</p> <p>②ごあいさつ、沖縄県の紹介、「四つ竹」の作品紹介とあらすじのお話。</p> <p>③●紅型塗り絵の紹介 ●「おきなわことばクイズ」・「地謡の楽器紹介」・「沖縄音楽ミニコンサート」</p> <p>④●琉球舞踊にチャレンジ「南嶽節」 代表児童・生徒による演奏発表コーナー</p> <p>⑤組踊「万歳敵討」の作品紹介とあらすじのお話</p> <p>⑥組踊「万歳敵討」種類:仇討物/作者:田里朝直/初演:1756年尚穆王冊封の宴で上演 監修:宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊立方」(各個認定)人間国宝</p> <p>※●は、児童・生徒の共演、参加又は体験 <span style="float:right">※別添:本公演演目参照</span></p> <p style="text-align:right">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>○琉球舞踊「四つ竹」:竹で作られたカスターネットのような鳴り物、四つ竹を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。衣装は艶やかな紅型衣装を身にまとい、頭に花笠を被り、優雅に華やかに踊ります。</p> <p>○組踊「万歳敵討」:高平良御鎖は、名馬を手に入れられなかったことを恨み、大謝名の比屋を闇討ちしました。大謝名の比屋の息子である謝名の子と慶雲は敵を討つ機会を狙っていました。2人は旅芸人に姿を変えて、浜下りの場に近づいて高平良御鎖を追い詰め、見事父の敵を討ち果たしました。終盤の緊迫感みなぎる仇討ち場面が見どころです。</p>			
演目選択理由	<p>沖縄の代表的な伝統芸能である、琉球舞踊と組踊の、芸術性・音楽性、地方的特色を強く感じて頂ける演目と致しました。</p> <p>○「四つ竹」は、古典女踊りの中でも名作であります。足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法、載み手、抱き手などがあります。様式美の見どころが多く芸術性の高い演目です。</p> <p>○「万歳敵討」は、沖縄伝統芸能の3要素「琉球古典語」「琉球古典音楽」「琉球古典舞踊」が入った演目の1つです。また、口説、万歳かふす節、おほんしやり節、さいする節を抜粋した、琉球舞踊「高平良万歳」としても作品があります。琉球舞踊、組踊どちらの伴奏も、地謡と言われる琉球古典音楽演奏家が行います。こうした教育的価値の含まれる演目を、分かりやすく興味を持って鑑賞できるように、実演とレクチャーを通して、お伝えしたいと考えます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>●「紅型塗り絵の紹介」ワークショップでお渡しした塗り絵のシートを頂戴して、会場の舞台装飾に使用します。</p> <p>●「おきなわことばクイズ」案内役の進行で、沖縄の方言を二択のクイズ形式で行います。鑑賞者はその場で参加できます。</p> <p>●琉球舞踊にチャレンジ「南嶽節」代表児童・生徒は、紅型衣装を羽織り、足袋を履き、四つ竹を手に持ち、地謡の演奏に合わせて演奏を披露してもらいます。ステージ上とフロアのどちらも使い会場一杯に踊ります。琉球舞踊の基本構成の出羽・中踊り・入羽を披露します。</p>			
出演者	<p>沖縄伝統組踊「子の会」会員、または会OB・賛助</p> <p>仲嶺良盛 棚原健太 大城建太郎 徳田泰樹 伊藝武士 比嘉大志 知花令磨 山城峻称 高平賢太郎 澤岬安樹 兼箇段翔 町田倫士 下地心一郎 岡本凌</p> <p>川満香多 玉城和樹 池間北斗 入嵩西論 喜納吏一 大城貴幸 玉城匠</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 19 名 スタッフ: 7 名 合計: 26 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時30分	9時30分～11時30分	13時30分～15時	10分	15時～16時	16時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	10日	0日	15日	3日	
	11月	12月	1月	計	59日	
	3日	3日	10日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		20名程度	
			鑑賞人数目安		500名程度	



体育館のステージを舞台として使用した状態

スクリーン

紅型幕

演奏場所

(上の写真)  
ステージ上の正面に、紅型パネルを立てます。  
フロアの右側に演奏場所をつくります。  
フロアの左側にスクリーンを立てます。  
ステージ上の使用スペース 横5.4m 奥行2.7m

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



体育館のフロアを舞台として使用した状態

スクリーン

紅型幕

演奏場所

(上の写真)  
フロアの正面に、紅型パネルを立てます。  
フロアの右側に演奏場所をつくります。  
フロアの左側にスクリーンを立てます。  
フロア上の使用スペース 横9.4m 奥行2.7m

## 【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名程度
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>標準90分 (①～⑥:45分/⑦⑧:45分)</p> <p>①指導者全員が着物を着て、体育館で児童・生徒の皆さんをお迎えします。 ・始めに指導者全員で、あいさつをします。続いてうちな一ぐちで‘ハイサイ’とあいさつします。 児童・生徒の皆さんも‘ハイサイ’と言ってみましょう。 ・指導者が、一人ずつ名前と役割など紹介します。 ・事業の紹介と、ワークショップで何を行うか、プログラム順でご案内します。</p> <p>②沖縄県の代表的な伝統芸能、琉球舞踊と組踊を紹介します。 ・琉球舞踊と組踊、それぞれの特徴や、あらましについてお話しします。</p> <p>③楽器を紹介します。 ・三線の伝来や歴史をお話ししながら、クイズ形式で三線を紹介します。</p> <p>④琉球舞踊体験してもらいます。四つ竹という楽器(鳴り物)を使います。 ・三線の「赤田首里殿内」の演奏に合わせて手遊びを行います。 ・歩き方(すり足)にチャレンジします。 ・四つ竹を手に持ち、三線の演奏に合わせて、四つ竹を打ちながら、歩みをします。</p> <p>⑤組踊を体験してもらいます。 ・演者の役柄による座り方 ・演者の役柄による歩き方 ・演者の役柄によるセリフ(唱え)の言い方</p> <p>⑥最後に、ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。</p> <p>休憩10分</p> <p>⑦代表児童・生徒の皆さんが、琉球舞踊「南嶽節」に四つ竹を使って挑戦です。 ステップ1 四つ竹を持ち、基本の立方(構え)を練習します。 ステップ2 歩みを練習します。 ステップ3 所作を練習します。 ステップ4 最後に通して練習します。</p> <p>⑧最後に、ワークショップを振り返って、感想を聞かせてください。</p> <p style="text-align: right;"><b>※別添:ワークショッププログラム参照</b></p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>沖縄県の代表的な伝統芸能、琉球舞踊と組踊を、児童・生徒が初めて識る貴重な機会となるでしょう。また、伴奏楽器の中心となる三線の音色、伝来や歴史を知る機会ともなります。そして本公演の演目の、「四つ竹」と「万歳敵討」どちらの演目でも使われる楽器の四つ竹を代表児童・生徒が体験します。</p> <p>琉球舞踊の手踊りや、すり足、組踊の役柄による座り方、セリフ(唱え)の言い方を、レクチャーし体験することで、本公演への興味関心を促すことに繋がると共に、芸術鑑賞能力の向上、身体教育にも繋がると思っています。組踊のセリフ(唱え)を言うことで、発想力が養われ国語・言語教育の一助になると考えます。</p> <p>三線の伝来を紹介する中で、沖縄県の歴史にも触れ、社会教育の一助になると考えます。</p> <p>代表児童・生徒が、楽器四つ竹を使って琉球舞踊「南嶽節」を練習することで、仲間と一緒に踊る楽しさ、所作や技術の難しさを感じることでしょう。指導者は児童・生徒の憧れの存在となるような姿勢で、ワークショップに取り組むことで、芸術家の育成に繋がると思っています。</p> <p>ワークショップの最後に振り返りを行うことで、学んだことを自覚し、次の学びを生み出すことが出来ると考えます。また、自己の成長を自覚すると共に、その場で発表することで、他者の振り返りの内容を共有し、自分の学びに生かすことが出来ることでしょう。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>・本公演までに、紅型デザインの塗り絵に色を塗りましょう。本公演の際に舞台美術として、会場に装飾致します。(授業時間などに差し支えない程度で取り組んでみてください)</p> <p>琉球舞踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。 <a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/ryukyudance.html">https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/ryukyudance.html</a></p> <p><a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/ryukyuan-dance">https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/ryukyuan-dance</a></p> <p>組踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。 <a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/kumiodori.html">https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/kumiodori.html</a></p> <p><a href="https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/kumiodori">https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/kumiodori</a></p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】
<p>本公演演目</p>	<p style="text-align: center;">おきなわ伝統芸能 『琉球舞踊』と『組踊』 本公演プログラム 【第1部】</p> <p>① 琉球舞踊 『四つ竹』 上演 ・お客様をおもてなしをする時に、踊られる舞踊です</p> <p>② あいさつと、沖縄県の紹介 「四つ竹」の作品介绍とあらすじのお話。 ・案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように丁寧に話します</p> <p>③ 「おきなわことばクイズ」 ・沖縄県の方言ウチナーグチを、クイズ形式で紹介します</p> <p style="text-align: center;">地謡(演奏家)による楽器紹介 ・地謡のみなさんが、5種類の楽器を紹介します。それぞれ短いフレーズのメロディを演奏します。音色を聞いてみましょう。</p> <p style="text-align: center;">「沖縄音楽ミニコンサート」 ・古典音楽、沖縄民謡、現代音楽の各ジャンルから、それぞれ1曲ずつ演奏します。音色の違いを聞き比べてみましょう。</p> <p>④ 「琉球舞踊発表コーナー」 「南嶽節」の演奏で、四つ竹を持ちワークショップと本公演までの練習の成果を発表してください。</p> <p style="text-align: center;">【第2部】</p> <p>⑤ 『万歳敵討』の作品介绍とあらすじのお話 ・案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように、丁寧に話します。</p> <p>⑥ 組踊 『万歳敵討』 上演 ・終演後カーテンコールを行います</p>	 <p style="text-align: center;">①琉球舞踊 『四つ竹』 上演のシーン</p>  <p style="text-align: center;">②案内役が丁寧にプログラムを進めます</p>  <p style="text-align: center;">③おきなわことばクイズスクリーンに投影します</p>  <p style="text-align: center;">④⑤地謡(演奏家)のみなさん</p>  <p style="text-align: center;">⑥楽器「四つ竹」を使って琉球舞踊発表</p>  <p style="text-align: center;">⑦組踊 『万歳敵討』 上演のシーン 弟の慶雲（左側）、兄の謝名の子（中央） 敵の高平良御鎖（右側）</p>

ワークショップ  
プログラム

## ワークショップ プログラム

### ●対象：児童・生徒

- ①ワークショップスタート
  - ・指導者は着物で、みなさんをお迎えます。
  - ・沖縄県の方言であいさつをします。  
‘ハイサイ!’ ‘ハイタイ!’
  - 児童・生徒の皆さんも言ってみましょう。
  - ・自己紹介と、事業の紹介、プログラムを紹介  
します。
- ②沖縄の伝統芸能、琉球舞踊と組踊を紹介
  - ・琉球舞踊と組踊、どんな物か知ってもらい  
ます。
- ③楽器紹介
  - ・三線に関する事をクイズ形式で紹介します。
- ④琉球舞踊体験 演奏曲「赤田首里殿内」
  - ・三線の演奏に合わせて、手遊び体験
  - ・歩き方(歩み)を体験
  - ・三線の演奏に合わせて、四つ竹を打ちなが  
ら、歩みを体験
- ⑤組踊体験
  - ・演者の役柄による座り方体験
  - ・演者の役柄による歩き方体験
  - ・演者の役柄によるセリフ(唱え)体験
- ⑥最後に、ワークショップを振り返って、  
感想や質問、意見を聞かせて下さい。

### ●対象：代表児童・生徒

- ⑦琉球舞踊にチャレンジ 演奏曲「南嶽節」  
本公演の際に、代表して琉球舞踊の演舞を  
披露する練習時間です。

- ・ステップ1 四つ竹を持ち、基本の立方  
(構え)を練習です。
- ・ステップ2 歩みの練習です。
- ・ステップ3 所作(振付)を練習です。
- ・ステップ4 演舞を通してやってみよう。

- ⑧最後に、ワークショップを振り返って、  
感想を聞かせてください。



①ワークショップスタート



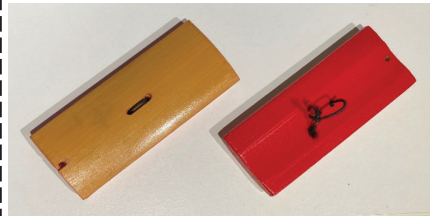
③楽器紹介  
三線  
どんな音色が  
聞こえてくるかな



④三線の演奏に合わせて手遊びの様子



⑤左が男性役、右が女性役の座り方



④⑦楽器「四つ竹」

どんな風に使って、どんな音色がするのかな